

こどもの参加する権利に関するアンケート調査結果（概要）

1 調査期間

令和6年10月15日（火）～10月23日（水）

2 調査方法

WEBによる配布・回収

対象	配布数	回収数	回収率
小6・中3	991 票	698 票	70.4%

3 設問・回答結果（概要）

設問1 あなたは、自分の考えを友だちに伝えることができますか？

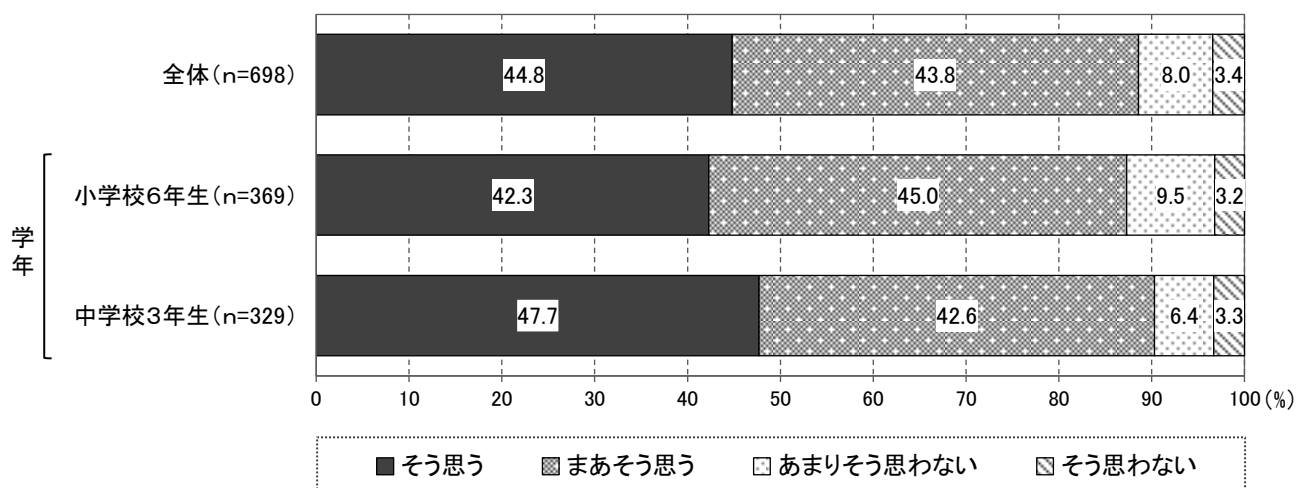
あてはまると思うものを1つ選んでください。

☐ そう思う ☐ まあそう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

結 果

「そう思う」と「まあそう思う」を合せた“友だちに考えを伝えることができる”割合は全体の88.6%となっています。

一方で、残りの11.4%は“友だちに自分の考えを伝えづらい”状況にあると言えます。



設問2 あなたは、おとなに何か伝えたいことがあるとき、それを伝えられていますか？

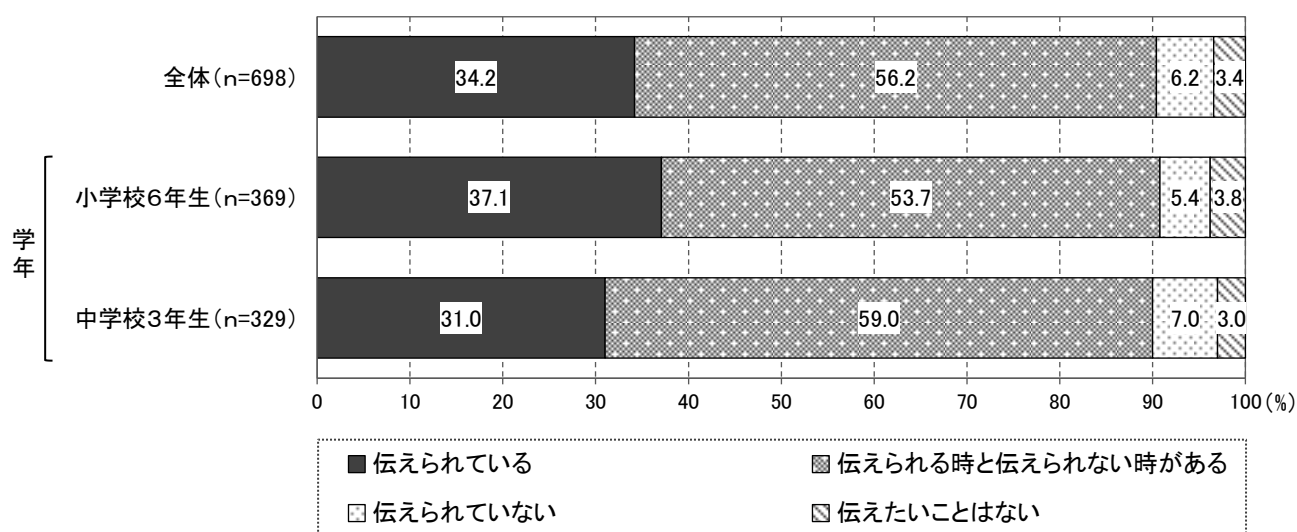
あてはまると思うものを1つ選んでください。

☐ 伝えられている ☐ 伝えられる時と伝えられない時がある

☐ 伝えられていない ☐ 伝えたいことはない

結 果

「伝えられている」は34.2%となっています。一方で、最も回答の多い「伝えられる時と伝えられない時がある」が56.2%、
「伝えられていない」が6.2%となっており、全体の6割強が、伝えたいことを伝えられていない現状があることが伺えます。



設問3 おとなは、あなたの考えや思っていることを聞いてくれますか？

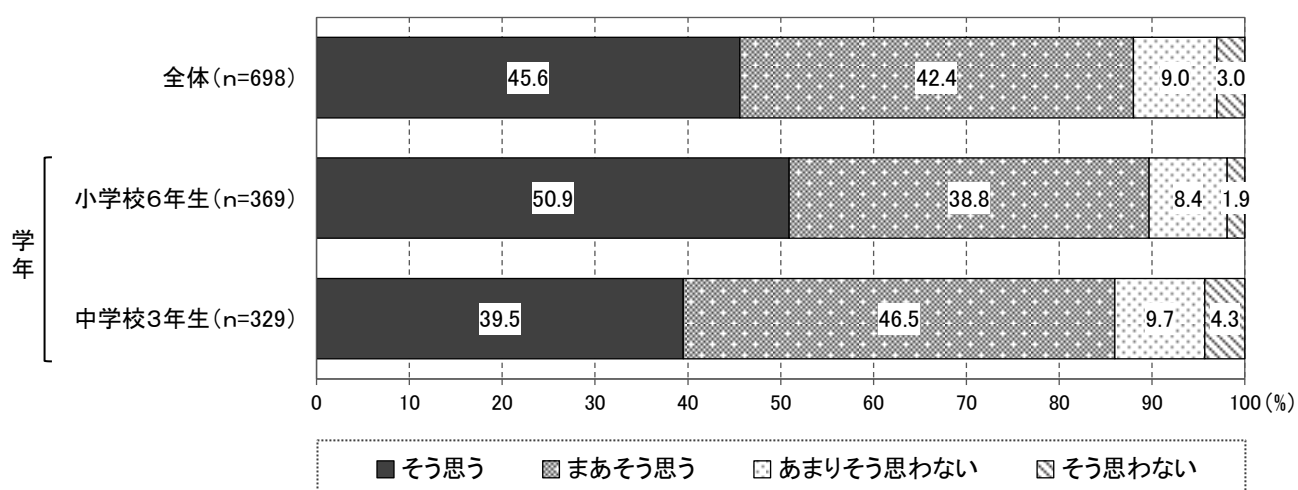
あてはまると思うものを1つ選んでください。

☐ そう思う ☐ まあそう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

結 果

「そう思う」と「まあそう思う」を合せた“考えや思っていることを聞いてくれている”割合は全体の88%となっています。

一方で、残りの12%は“考えや思いを聞いてもらっていない”と感じている状況です。

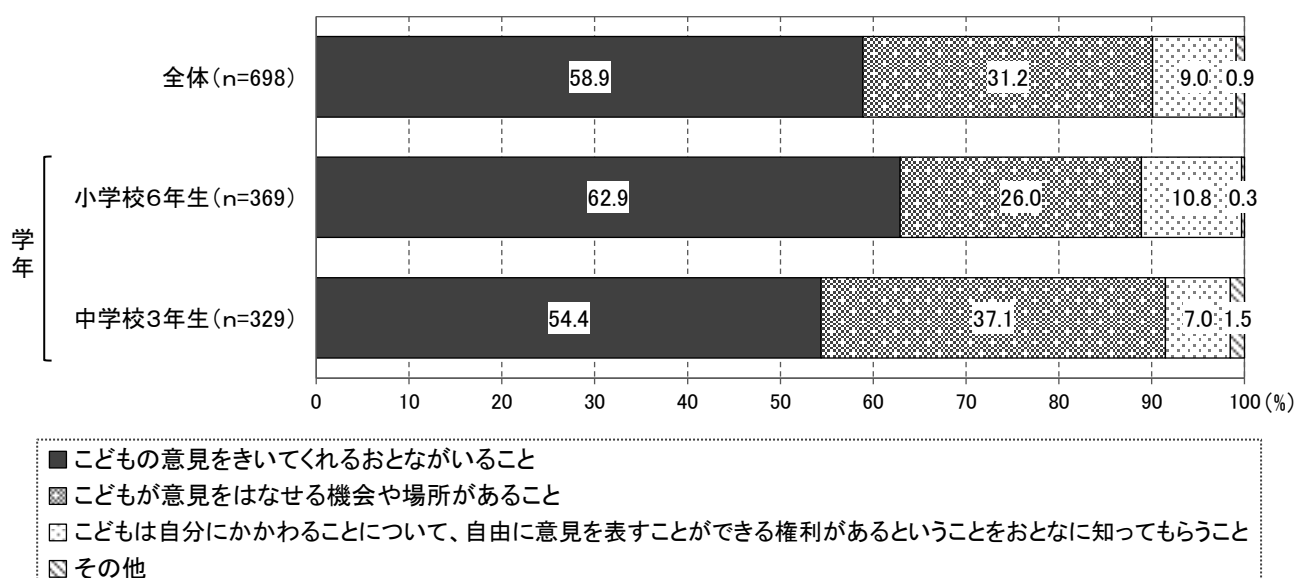


設問4 こどもがおとなに自分の考えや思っていることを伝えるために一番大切だと思うことを1つ選んでください。

- ☐ こどもの意見をきいてくれるおとながいること
- ☐ こどもが意見をはなせる機会や場所があること
- ☐ こどもは自分にかかわることについて、自由に意見を表すことができる権利があるということをおとなに知ってもらうこと
- ☐ その他

結 果

「こどもの意見をきいてくれるおとながいること」が最も多く 58.9%、次いで「こどもが意見をはなせる機会や場所があること」の 31.2%、「こどもは自分にかかわることについて、自由に意見を表すことができる権利があるということをおとなに知ってもらうこと」9.0%となっています。



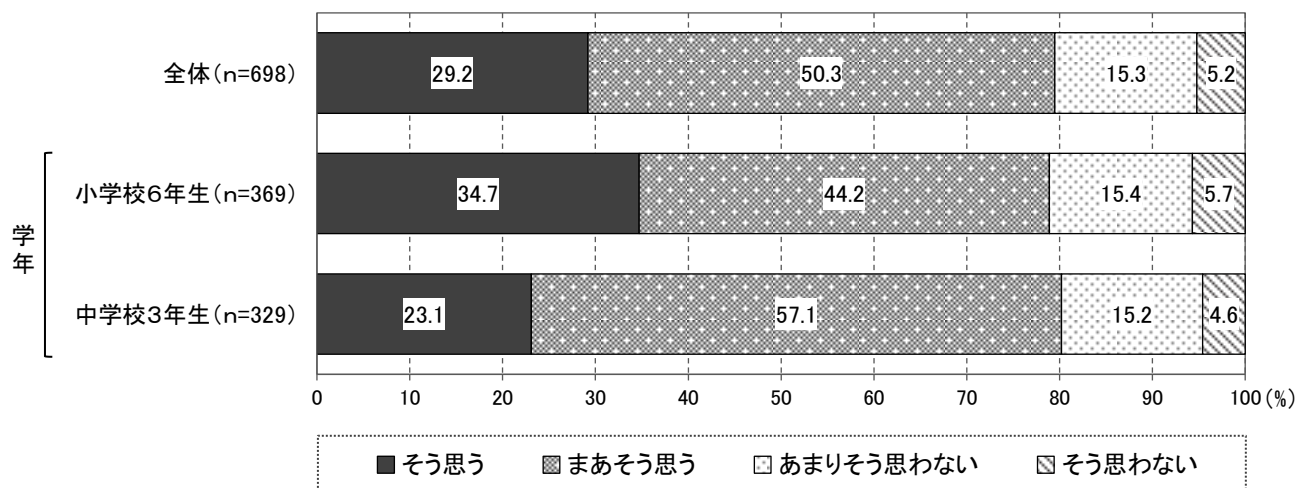
自由記述（抜粋）

- ・自分の意見を肯定してもらう
- ・その人に伝えやすいかどうか
- ・常識の海にとらわれない

設問5 通っている学校や住んでいる地域では、行事や生活に、こどもの意見が反映されていますか。

結 果

学校や地域において、こどもの意見が行事や生活に反映されていると感じている割合は、全体の8割程度を占めています。



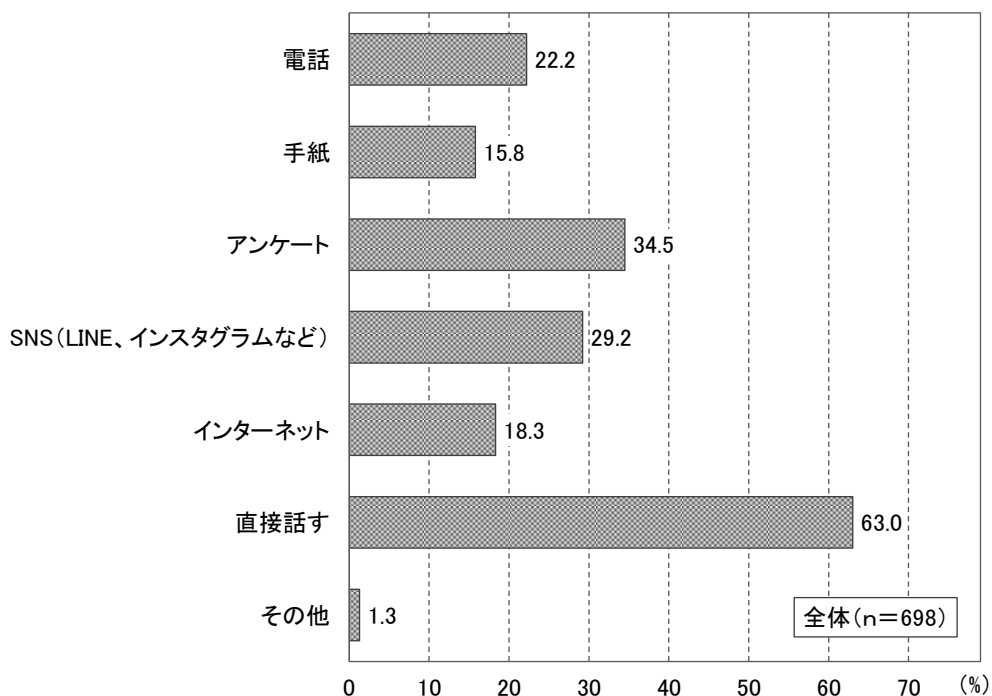
設問6 どのような方法だったら、おとなに意見を伝えやすいと思いますか？※複数回答可

- ☐ 電話 ☐ 手紙 ☐ アンケート ☐ SNS (LINE、Instagramなど)
☐ インターネット ☐ 直接話す ☐ その他

結 果

こどもが意見を伝えやすい方法として、最も多かった回答が「直接話す」であり、回答者全体の63.0%が意見を伝えやすい方法であると回答しています。

次いで、「アンケート」の34.5%、「SNS (LINE、Instagramなど)」の29.2%となっています。



		(n=)	電話	手紙	アンケート	S N S (LINE、インスタグラムなど)	インターネット	直接話す	その他
全体		698	155 22.2%	110 15.8%	241 34.5%	204 29.2%	128 18.3%	440 63.0%	9 1.3%
学年	小学校6年生	641	104 16.2%	61 9.5%	104 16.2%	75 11.7%	48 7.5%	245 38.2%	4 0.6%
	中学校3年生	646	51 7.9%	49 7.6%	137 21.2%	129 20.0%	80 12.4%	195 30.2%	5 0.8%